

「廿日市市文化芸術推進計画」策定に係る関係所属等検討会議について

1 検討会議のねらい

- 文化芸術の振興に直接関わる所属に加え、地域づくり、国際交流、産業、観光、福祉など、文化芸術との連携が期待される関係所属等が集まり、それぞれの分野から文化芸術との関わりを捉え、「廿日市市文化芸術推進計画」（以下「計画」という。）に盛り込む今後の方向性や具体的な取組について検討する場とする。
- 計画策定の過程から関係所属等が意見を交わすことで、文化芸術に直接関わる文化部門だけの取組とせず、各分野の施策とのつながりや連携の可能性を検討するとともに、計画策定後の推進につながる庁内・関係機関の連携体制づくりを目指す。

2 検討会議の構成

大きく次の3つの分野から構成する。

(1) 文化芸術に直接関わる分野

学校教育、生涯学習、文化財、市民センター、公共施設マネジメント 等

(2) 文化芸術との連携が期待される分野

地域振興、国際交流、市民センター、産業、観光、福祉 等

(3) 文化芸術や関連分野を担う団体

地域福祉、障がい、文化財団 等

3 検討会議の組み立て

策定期間を通じて全5回程度の開催を予定し、組み立てを次のとおりとする。

回次	主な内容	検討のポイント	計画への反映
第1回	策定趣旨・進め方の共有、文化芸術との関わりの確認、アンケート・ヒアリング項目共有	文化芸術をそれぞれの分野から捉える。	(目的の共有)
第2回	アンケート・ヒアリング結果等の共有、現状・課題の整理	市の現状や課題を共有する。	課題設定
第3回	目指す姿（基本理念）、基本目標の検討	これからの文化芸術の方向性を考える。	基本理念 基本目標
第4回	具体的な取組の検討	各分野との連携も含め、取組を考える。	施策 取組の方向性
第5回	具体的な取組、計画の推進方法の検討	誰が・どのように取り組み、連携するかを考える。	推進方策

※計画策定の進捗等に応じて、内容は変更する場合がある。

4 参加する職員等に期待する役割

- ・ 文化芸術に関する専門的な知識を求めるものではなく、それぞれの所属・分野での経験や課題意識を持ち寄る。自所属の施策や事業と文化芸術との接点を考えるとともに、次の視点で議論することを期待する。

- 自所属の分野から見たとき、文化芸術にどのような課題や可能性があるか。
- 現在の施策・事業の中に、文化芸術とつながる取組がないか。
- 文化芸術との連携によって、自所属の課題解決や取組の充実につながる可能性がないか。
- 計画策定後、どのような連携や役割分担が考えられるか。

- ・ 必要に応じて、所属内での情報共有や、関連する事業・取組等の情報提供について協力をお願いします。